

平成23年度第2回千葉県防災会議幹事会

議事概要

1. 防災会議幹事会の概要

日時 平成24年2月2日 13:00～13:40

場所 千葉県庁本庁舎5階大会議室

出席者 千葉県防災会議幹事及び防災関係機関

2. 議事概要

「千葉県地域防災計画修正の基本方針（案）」について、事務局から説明後、幹事等から意見をいただいた。

幹事等からいただいた意見等は次のとおり。

- 地域防災計画見直しの方針で、国の防災基本計画では、津波対策編を新設するが、この地域防災計画の見直しの基本方針では、震災編の中でそのまま津波対策の強化・推進するとある。千葉県は、津波対策の構成を変えるのか、また、変えない場合はどのような考え方で変えないのか、教えていただきたい。

事務局 本日晒したのは、地域防災計画修正の基本方針で、主な考え方を提供している。今の質問は構成の話であり、構成はこれから検討しようと思う。それは、国の防災基本計画が津波対策編を新設しているが、中身を見ると他編と記述が重複しているところがある。重複しても新設した方が分かり易いのか、違う形で津波を強調し、対策を充実させる方が分かり易いのか、構成はこれから検討し、最終的な修正原案で皆様の御意見をいただきたいと考えている。

議長 今の地域防災計画について、もう少し分かり易くならないのかとの意見もあり、どのような形がよいのか、皆様の御意見を聞きながら、検討していきたい。

- 来年度の学校教育指導の指針の中に防災教育を位置付け、取り組んで行こうと考えている。

基本的には、子供たちの命を守るのが、学校の防災教育の中心であり、その中で避難訓練等を行っている。今回の震災を受けて津波被害、液状化、また、学校においては避

難所や帰宅困難者対策などの課題があり、新たな視点として、大きくクローズアップされている。

教科での内容の防災教育だけでなく、地域を巻き込んだ体験を入れた防災教育、防災管理体制の整備が必要だと考え、来年度、防災教育を学校教育指導の指針に取り込んでいる。

- 帰宅困難者対策では、千葉から西側の主要の5駅に帰宅困難者用の毛布などの備蓄を進めている。また、駅周辺の帰宅困難者連絡協議会（仮称）に参加し、各駅の駅長が自治体に足を運んで、避難場所や広域避難場所の選定、指定など帰宅困難者対策の取り組みを順次進めている。

以上